



# 高輪だより

令和4年度 12月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

## 師走を迎えて

園長 柿沼 敦子

園庭の紅葉も見納めの頃となり、季節が冬に変わろうとしています。

11月12日(土)の高輪タイムでは、親子で各学年それぞれの凧を作りました。3歳児のウサギを模した凧は、親子の笑顔誘いました。4歳児は、渦巻き状の凧をなびかせて親子でリレーを楽しみ学級全体で盛り上がりました。5歳児は作った凧を高輪台小学校の広い校庭で揚げました。その凧はふわりと心地よく揚がり、親子で一生懸命作った達成感を共有したことでしょう。お父さんの中には小さい頃の凧揚げを思い出しながら楽しむ様子もありました。青空の下、親子の大切な時間になりました。

さて、カタールでサッカーワールドカップが開催されました。日本は、初戦で強豪ドイツに勝利し歓喜しました。そして、さらに素晴らしいニュースが届きました。サポーターによるスタジアムのゴミ拾いと、試合後の日本代表選手たちのロッカールームの整理整頓です。「普段から『来た時よりも美しく』と、試合だけではなく練習会場でも同じようにしている」というスタッフの言葉がありました。使った場所に対する感謝の気持ちと次に使うチームが心地よく過ごせるための思いやりの心がそこに見えました。世界の人々から「すばらしい!」「リスペクト!」と日本人らしい行為が称賛されたことは大変うれしいことでした。子どもたちが毎日行う幼稚園の片付けでは、自分たちで遊具を元の場所に戻して整理整頓したり、ゴミがなくなるまできれいにしたりする心地よさを感じることを大切にしています。仕方なくやるのではなく、心地よさを味わうために進んで片付けられたことを喜び合うようにしています。ワールドカップでのこれらの行為を子どもたちにも伝え、さらに意識を高めたいと思います。

2022年も残すところ1か月となりました。新しい年の準備として2学期の終わりに各学年なりに大掃除をします。遊んだ場所や物に感謝の気持ちを込めて行うという心を未来に生きる子どもたちにつなげていきます。

保護者の皆さま、地域の皆さま、園教育へのご理解とご協力をいただきありがとうございました。2023年もよろしくお願いいたします。

わくわく ぽかぽか  
みんなえがおの  
たかなわようちえん

3歳児 ウサギの凧



4歳児 クルクル凧



5歳児 ビニール凧



たかなわんだふる  
. ☆ (000) ☆ .



## わくわくらボとは・・・

「みて、さわって、かんがえるへや」

戸外の環境を滑らかにつなぎ、子どもたちの自然への興味関心を高め、幼児同士の対話から豊かな感性や学びを生み出す空間です。保護者の方もぜひお立ち寄りください。



## ☆わくわくらボ☆

